第 7 期 総 合 計 画 事 務 事 業 進 行 管 理 調 書

[PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 過疎計画掲載 X

第3次実施4力年計画

第9年次

第10年次

実施4カ年

事 業 名	ごみ収集処理	事業			事業期間	_	_ 年度 ~	— 年度						
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	2-1-1	他に関連する 基本事業	2-2-1					所管課係	市民生活課環境衛生係
目的 (何のために実施するのか)	一般廃棄物収集選理等を進め、生活	■搬処理に関し、: 5環境の保全と公	適正かつ効率的に 衆衛生の向上を図	処理することに る。	より、廃棄物の適〕	Eな分別、保管	、運搬、再生、	・手段 (どのような方法で 実現するのか)	収集、運搬等に	係る業務を業者に	委託することによ	り実施。処理は久	フ リーンプラザく	るくるに搬入する。
対象 (誰・何を対象として いるのか)	市内の各家庭。						各家庭から排出 る。	された一般廃棄物	を収集、運搬し適	正に処理すること	こで生活環境が保ま	全され、公衆衛生の向上が図られ		
事業開始時の状況緯	・これまでの経	砂川市ごみ処理均	場に全て搬入してい	いた家庭ごみにて	ついて、平成15年	4月よりクリ-	ーンプラザくる・	るに搬入し、リサイ	クルの推進を図	っている。				

第2次実施3力年計画

第6年次

実施3カ年

第7年次

第8年次

第5年次

第4年次

残渣運搬経費が

予定より減少し

たことによる減

実施3カ年

[DO]

実績

実績との比較

(増減理由)

第1次実施3力年計画

第2年次

残渣運搬経費が 残渣運搬経費が 残渣運搬経費が

予定より減少し 予定より減少し 予定より減少し

たことによる減 たことによる減 たことによる減

第3年次

第1年次

合 計 合 計 合 計 (3年度) (4年度) (5年度) (6年度) (7年度) (8年度) (9年度) (10年度) (11年度) (12年度) 計画額 予算計上額 実 績 額 計画額 予算計上額 実 績 額 方 計画額 予算計上額 投 実 績 額 計画額 38, 465, 000 0 38, 466, 000 38, 466, 000 38, 466, 000 115, 398, 00 38, 465, 000 38, 465, 000 115, 395, 000 38, 465, 000 38, 465, 000 38, 465, 000 38, 465, 000 153, 860, 00 384, 653, 000 予算計上額 34, 892, 000 33, 425, 000 38, 488, 000 106, 805, 00 38, 462, 000 48, 636, 000 87, 098, 000 193, 903, 000 実 績 額 35, 837, 247 33, 363, 304 38, 402, 969 38, 399, 845 38, 399, 845 146, 003, 365 107, 603, 520 計画額 95, 373, 000 95, 373, 000 95, 373, 000 95, 364, 000 95, 364, 000 95, 364, 000 286, 092, 000 95, 364, 000 95, 364, 000 95, 364, 000 95, 364, 000 381, 456, 00 953, 667, 000 - 般 財 源 286, 119, 00 予算計上額 98, 948, 000 100, 415, 000 95, 429, 000 294, 792, 00 95, 367, 000 120, 593, 000 215, 960, 000 510, 752, 000 実 績 額 97, 928, 061 100, 250, 248 95, 211, 309 95, 211, 30 388, 608, 671 95, 219, 053 293, 397, 365 事業費合計 計画額 133, 839, 000 133, 839, 000 133, 839, 00 401, 517, 000 133, 829, 000 133, 829, 000 133, 829, 00 401, 487, 000 133, 829, 000 133, 829, 000 133, 829, 000 133, 829, 000 535, 316, 00 1, 338, 320, 000 予算計上額 133, 840, 000 133, 840, 000 133, 917, 000 401, 597, 000 133, 829, 000 303, 058, 000 704, 655, 000 169, 229, 000 実 績 額 133, 765, 308 133, 613, 552 133, 622, 02 401, 000, 882 133, 611, 154 133, 611, 154 534, 612, 036 家庭ごみ収集運 家庭ごみ収集運 家庭ごみ収集運 家庭ごみ収集運 家庭ごみ収集運 費 搬委託料(北 搬委託料(北 搬委託料(北 搬委託料(北 搬委託料(北 中・南地区) 事業費予算の 由•南州区) 中・南地区) 中・南地区) 中・南地区) の 残渣物運搬委託 残渣物運搬委託 残渣物運搬委託 残渣物運搬委託 残渣物運搬委託 内容 推 残渣運搬委託料 前年同額 残渣運搬委託料 残渣運搬委託料 契約更新のた め、単価の見直 の減 の増 の減 前年度予算と しによる増 の比較 (増減理由)

(単付:円)

総合計画 合

計

Ħ	標の	推移	・評価															
Ä	動指	標 1	(「手段」をもる	(に設定)	指標名:ごみ収算	集回数		指標の求め方:こ	ごみを収集した回	数								
F.	以果指	標 1	(「成果」をもる	:に設定)	指標名:ごみ収算	集量		指標の求め方:ク	フリーンプラザく	るくるに搬入され	た量							
						第1次実施	3 力年計画			第2次実施	3カ年計画			第	3次実施4カ年計	画		第 7 期
					第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年 合 計	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年 合 計	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年 合 計	総合計画合計
-	_	Ţ.	 活動指標 1	計画値	(3年度)	(4年度)	(5年度)		(6年度)	(7年度) 310	(8年度)		(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)		п
	:	指	(単位/回)	実績値	311	311	310		309	010	010			011	011	011		
	:	1785	成果指標 1	計画値	3, 070, 530	3, 022, 080	2, 982, 230		2, 926, 320	2, 878, 820	2, 830, 480	0	2, 790, 110	2, 734, 830	2, 687, 560	2, 640, 640		
	F		(単位/kg)	実績値	3, 121, 300	3, 049, 810	2, 928, 210		2, 835, 420									
			事業の達成度 (活動指標をも					達成されている										
			事業の成果	= = = / / / 				変わらない										
		-	(成果指標をも 事業の効率性					2,750.1										
			事業の効率は					変わらない										
		1	総合評価					良好である										
					自己分析: 収集内窓に変更	自己分析: 収集内窓に変更	自己分析: 収集内容に変更	判断理由: ごみの収集量は	自己分析: 収集内容に変更	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
					は無い。「ク	は無い。「ク	は無い。「ク	計画値より若干	は無い。「ク									
					りーンノフザくるくる」へ搬入	るくる」へ搬入	リーンノフザくるくる」へ搬入	多いものの、分 別収集のルール も定着してお	りーンフラザくるくる」へ搬入									
					される家庭ごみの季託収集の景	される家庭ごみの季託収集の景	される家庭ごみの季託収集の景	も定着してお り、委託業者と	される家庭ごみの季託収集の景									
	_				は、前年度と比		は、前年度と比	連携を図り安定した収集運搬が	は、前年度と比									
	事	評			いる。	いる。	る。	行われている事										
		価						から良好と判断 した。										
		内容	4/\ A	TE A VOLNE														
	事		理由	評価の判断 または指標														
	₽			績値に関す 3分析														
	業																	
	評																	
	価																	
		L																
	L		今後の方向性					現状のまま継続	200				210					
					R5: 平成30年7月から	令和7年6月までの	の収集運搬契約を引	委託業者と締結し	R8 :				R10 :					
							を基本的に継続し 集への対応につい											
					議を行っていく		来"、の 別心に 20、	(安癿未省 C III										
	+	古州	を判断理由															
	강	善、	改革の内容															
		(R5.	R8、R10)															

[PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 過疎計画掲載 0 事 業 名 ごみ処理場環境管理事業 平成12年度 ~ — 年度 事業期間 第7期総合計画 の位置付け 他に関連する 基本事業 事業性質区分 新規・継続 2-1-1 市民生活課環境衛生係 継続 建設・建設外 建設外 所管課係 目的 (何のために実施する のか) 水質検査・分析により適正な水質検査を行い周辺地域の環境保全につなげる。 手段 (どのような方法で 実現するのか) ごみ処理場の水質検査・分析を専門業者に委託する。 対象 (誰・何を対象として いるのか) ごみ処理場における浸出水(ダイオキシン類等)。 適正な水質検査を行うことで、周辺地域住民の理解のもと長期間にわたって、ごみ処理場を運営していくことが可能と (どのような効果が なる。 得られるのか) (旧処理困難物破砕処理事業) ・ 『平成14年10月以前に砂川市ごみ処理場に搬入されたごみは埋立していたが、平成14年10月より砂川地区保健衛生組合の中間処理施設くるくるが稼動したことで、ごみ処理場への搬入ごみは粗大ごみだけとなった。 事業開始時の状況・これまでの経

(旧浸出水放流水質検査事業) 平成12年1月にダイオキシン類対策特別措置法が施行され、ごみ処理場における全窒素・カドミュウム・鉛・ヒ素・大腸菌群数・地下水電気導電率等(有害三物質等)の検査が義務付けられ、高度の技術と分析機器類を 必要とすることから民間の分析機関に委託し適切な維持管理を行っている。

(旧ダイオキシン類水質検査事業) 平成12年1月にダイオキシン類対策特別措置法が施行され、ダイオキシン類対策特別措置法対象施設(最終処分場)の適切な維持管理(定期検査)を行う。

[DO]

実績

				第1次実施	13カ年計画			第2次実施3	3 カ年計画			第	3次実施4カ年計	画		第 7 期
			第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
			(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
	国	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実 績 額				0				0					0	0
	道	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実 績 額				0				0					0	0
	地 方 億	計画額				0				0					0	0
投		予算計上額				0				0					0	0
		実 績 額				0				0					0	0
入	その他	計画額				0				0					0	0
さ		予算計上額				0				0					0	0
-		実 績 額				0				0					0	0
れ	一般財源	計画額	1, 621, 000	2, 621, 000	2, 621, 000	6, 863, 000	2, 531, 000	4, 031, 000	4, 031, 000	10, 593, 000	4, 423, 000	4, 423, 000	4, 423, 000	4, 423, 000	17, 692, 000	35, 148, 000
		予算計上額	1, 621, 000	2, 763, 000	2, 469, 000	6, 853, 000	2, 531, 000	2, 707, 000		5, 238, 000					0	12, 091, 000
た		実 績 額	1, 839, 310	2, 742, 480	2, 292, 950	6, 874, 740	2, 289, 650			2, 289, 650					0	9, 164, 390
事	事業費合計	十 計 画 額	1, 621, 000	2, 621, 000	2, 621, 000	6, 863, 000	2, 531, 000	4, 031, 000	4, 031, 000	10, 593, 000	4, 423, 000	4, 423, 000	4, 423, 000	4, 423, 000	17, 692, 000	35, 148, 000
7		予算計上額	1, 621, 000	2, 763, 000	2, 469, 000	6, 853, 000	2, 531, 000	2, 707, 000	0	5, 238, 000	0	0	0	0	0	12, 091, 000
業		実 績 額	1, 839, 310	2, 742, 480	2, 292, 950	6, 874, 740	2, 289, 650	0	0	2, 289, 650	0	0	0	0	0	9, 164, 390
費の推	事業費予算の内容		検査等委託料 ダイオキシン類 検査等委託料	調整池清掃業務 委託料	検査等委託料 調整池清掃業務 委託料		ごみ処理場水質検査等 委託料 ダイオキシン類検査等 委託料 モニタリング業務委託	等委託料 ダイオキシン類検査 等委託料 モニタリング業務委 託								
移	前年度予算と の比較 (増減理由)		前年同額	ごみ処理場水質 検査の回数を増 やしたことによ る増	調整池清掃を原 水ピットのみに したことによる 減		モニタリング業務 委託の増	単価見直しによる増								
	実績との比較 (増減理由)	交	検査回数の増に よる増額 3月補正 220千 円	見積り合わせに よる滅	見積り合わせに よる減		見積り合わせによ る減									

76	10K VJ 10	.199 " BT W																
活	動指標	1 (「手段	殳」をもとり	こ設定)	指標名:水質検	査測定箇所数		指標の求め方:流	曼出水検査・ダイオ	キシン類検査実施	- 箇所数							
成	果指標	1 (「成界	具」をもと1	こ設定)	指標名:基準不正	適合件数		指標の求め方:	基準値を上回った件	·数								
Ē						第1次実施	103カ年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4力年記	+画		<i>**</i> → ₩0
					第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	. 第 7 期 総合計画
					(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
		活動指		計画値	11	11	11		11	L	11	1	11	11	11	11		
	指		() () () ()	実績値	11		11		11									
	標	成果指 (単位		計画値	0	L	0		0	0		0	0	0	0	0		
	_			実績値	0	0	0		0									
			達成度 旨標をも	とに評価)				達成されている										
		事業の						min 1 . 7 . 6										
		(成果	旨標をも	とに評価)				変わらない										
			効率性	/ T. 4- T				変わらない										
			豊に対す.	6成果)								-						
		総合評	価		カコハゼ	カコハゼ	カコハゼ	良好である	カコハゼ	カコハゼ	ウコハギ	Not Not TOP 근	カコハギ	ウコハゼ	カコハゼ	カコハゼ	Not Not TO H	
					自己分析:	自己分析: 検査数値は適正	自己分析: 検査数値は適正	判断理由: ごみ処理場の安	自己分析: 検査数値は適正で	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
					域住民の理解を	であり、ごみ処	であり、ごみ処	定した浸出水処	あり、ごみ処理場									
					得、連携して維 持管理を行って	理場に係る維持 管理は適正に行	理場に係る維持管理は適正に行	理が実施されて いることを把握	に係る維持管理は 適正に行われてい									
					いかなければな	われている。		し、ごみ処理場										
					らない施設であ り、環境の悪化			の維持管理の適 正化が図られる										
3	ī.				り、環境の悪化 を防ぐための整			ことから良好と										
	. 評				備や検査は管理			判断した。										
	価				する自治体の責 務である。													
1	内				ごみ処理場に係													
	容		総合評	価の判断	る維持管理は適													
4	4		埋田まの実績	たは指標値に関す	正に行われてい る。													
			る自己		•													
9																		
	`																	
	T.																	
Ē	F																	
ſ	Б																	
		今後の	 方向性					現状のまま継続										
		7 12 07	>3 1~1 IT		R5 :			20 1/1 50 50 1150 1130	R8 :				R10 :				L	
					ごみ処理場の維持		適正な浸出水処理		l									
							゙ いくうえでも、≝	当事業の継続は必										
					要不可欠である。													
		性の判断																
	改著 (R	€、改革 <i>0</i> 5、R8、R	リ内容 10)															
	(II	o, no, n	.0,															

[PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 過疎計画掲載 0

事 業 名	ごみ処理場環	境整備事業			事業期間	令和	3年度 ~ —	- 年度						<u> </u>
事業性質区分	新規・継続	新規(予算)	建設・建設外	建設	第7期総合計画 の位置付け	2-1-1	他に関連する 基本事業						所管課係	市民生活課環境衛生係
目的 (何のために実施する のか)	ごみ処理場の長剰	导命化			-			手段 (どのような方法で 実現するのか)	建設後20数年約	怪過し、老朽化し	ている施設及び設	と備の修繕・改修 を	と実施する。	
対象 (誰・何を対象として いるのか)	ごみ処理場の施言 【参考】建設年							成果 (どのような効果が 得られるのか)	施設及び設備を修	を繕・改修するこ るとともに、施設	とにより、周辺地 等を延命化する。	地域住民の理解のも	と長期間にわたっ	って、ごみ処理場を運営していく
事業開始時の状況 緯			用開始された砂川i の更新を行ってい		度目の計画延長を	迎えるにあた	り、今後も継続的に	処理を続けていく	必要があることか	ーーー いら、一般的な施	 設の耐用年数を大	幅に超える使用年	- E数を経過しながら	o大規模な改修事業を行ってこな

[DO]

実績

		第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4カ年計	十画		第 7 期
	第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
	(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
国 費 計画額				0				0					0	0
予算計上額				0				0					0	0
実績額				0				0					0	0
道 費 計画額				0				0					0	0
予算計上額				0				0					0	0
実績額				0				0					0	0
地 方 債 計 画 額				0	38, 400, 000	25, 700, 000	23, 000, 000	87, 100, 000	29, 800, 000				29, 800, 000	116, 900, 000
投予算計上額		17, 200, 000		64, 000, 000	38, 400, 000	41, 600, 000		80, 000, 000					0	144, 000, 000
実績額		17, 200, 000	46, 800, 000	64, 000, 000	38, 300, 000			38, 300, 000					0	102, 300, 000
入その他計画額				0				0					0	0
予算計上額				0				0					0	0
実 績 額				0				0					0	0
れ 一般財源 計画額	8, 140, 000	14, 510, 000		31, 970, 000	56, 000	20,000	8, 526, 000		6, 027, 000			4, 092, 000	10, 119, 000	50, 700, 000
予算計上額	15, 910, 000	6, 488, 000		22, 481, 000	56, 000	79, 000		135, 000					0	22, 616, 000
ま 績 額	22, 781, 000	6, 000, 000		28, 863, 000	90, 000			90, 000					0	28, 953, 000
事業費合計 計 画 額	8, 140, 000	14, 510, 000	9, 320, 000	31, 970, 000	38, 456, 000	25, 729, 000	31, 526, 000	95, 711, 000	35, 827, 000	0	0	4, 092, 000	39, 919, 000	167, 600, 000
予算計上額	15, 910, 000	23, 688, 000	46, 883, 000	86, 481, 000	38, 456, 000	41, 679, 000	0	80, 135, 000	0	0	0	0	0	166, 616, 000
業 実績額	22, 781, 000	23, 200, 000	46, 882, 000	92, 863, 000	38, 390, 000	0	0	38, 390, 000	0	0	0	0	0	131, 253, 000
費		修繕料 委託料	工事請負費		工事請負費	工事請負費								
事業費予算の		安武科 工事請負費												
の内容		_ ,,												
推														
TIE .		計画改修及び延	計画改修の実施		丁重内突に トス	工事内容による								
移业与内容等人		命化実施設計業			減	生事が合による								
前年度予算との比較		務の実施による												
(増減理由)		増												
	緊急修繕による				見積り合わせに									
実績との比較	増額 9月補正 6,050	よる減	よる減		よる減									
(増減理由)	9月補止 6,050 千円													
	l · · · ·													
					II			l l				1		

Ħ	標の技	移・	評価															
Ä	動指標	₹1 (「	「手段」をもとり	こ設定)		数(工事請負件数 [·]							難。実績値を把握					
Ą	大果指標	₹1 (「	「成果」をもとり	こ設定)	指標名:施設破技	員等による事故件	数	指標の求め方:於	施設・設備の破損	・故障による事故	(件数(事故件数)	は想定外のもので	あり、計画値は0	と設定している。)			
							3 力年計画				3 力年計画				3次実施4力年記			第 7 期
					第 1 年次 (3年度)	第2年次(4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第4年次(6年度)	第5年次(7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次(9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施 4 カ年 合 計	総合計画合計
			動指標1	計画値			(* 1 22)				(-1,2)		(* 1)2/	(11)	(** 1 <i>)</i> 2/	(1-112)		
	打模	5	単位/件) 	実績値計画値	13	12	15		12	0	(0	0	(
			单位/件)	実績値	0	0	0		C)	`							
			業の達成度 動指標をも	とに評価)				達成されている										
			業の成果 果指標をも	とに評価)				変わらない										
		事業	業の効率性					変わらない										
		_	業費に対す。 合評価	る以来)				極めて良好である										
	事務事業評価	F 6 9	総田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田	価の判断 たは指標 値に関す	域得持いらりを的な備治る修はる幹で 住、管かな、院にばは体。繕、が問め 関係して、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、	た及修設修発が停重び障なをもに断に的 大及修設修発が停重び障なをもに断したのでいい機な破うし後のさいの機な破っしたのででいる事よ生 今る設た修い修っている。まま生 今る設た修い修い修がしたがい修っている。は、がの結故い理に際診画続要をした。	実た行修発が停重び障なをも 施設 施設 施設 一 に 工 い に 工 い し 、 の て 設 る 計 継 と し 施 立 な う る 計 継 と し た る る る 計 継 き と し ん る る る 計 継 き と し ん あ 。 ら る 計 継 き り を し を あ も う も き し を あ し を あ も の を あ も の を あ も の を あ も の を あ も の を あ も の を あ も の を あ る う る も の も の を あ る う る 。 と の を う る 。 と の る る 。 と の る 。 と の と の と の と の と の と の と の と の と の と	判断理化を記載的理性を設備した。一個では一個では一個では一個では一個では一個では一個では一個では一個では一個では	した実施設計に 従った延命化工 事を行った。 修繕については 発生している		自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		今後	後の方向性					現状のまま継続										
	改	善、改	判断理由 革の内容 、R10)			・ 股廃棄物の最終処 性持管理していく! である。			R8 :				R10 :					

[PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	廃棄物減量等	推進審議会運	営事業		事業期間	平成	4年度 ~	— 年度]					
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	2-1-1	他に関連する 基本事業						所管課係	市民生活課環境衛生係
目的 (何のために実施するのか)	市長の諮問に応し有効な廃棄物の派	じて、有識者や福 域量対策や適正な	祉、廃棄物処理業 処理方法に関する?	者等の団体代表 有効な意見を集	- 者で構成される廃棄 約して、ごみの減量	物減量等推進 化や適正な処	審議会において、 理を推進する。	手段 (どのような方法で 実現するのか)	市で推進している て市に対して答り		適正な処理に関す	「る施策について、	廃棄物減量等推	進審議会で審議し、意見を集約し
対象 (誰・何を対象として いるのか)	廃棄物減量等推進	進審議会委員。						成果 (どのような効果が 得られるのか)	有効なごみの減量	量化や適正な処理	についての施策を	- 円滑に立案する。		
事業開始時の状況 緯	・これまでの経	ごみの減量化や過	適正な処理に関する	施策について協	協議を行うため平成	5年度に設置	され、年1回の定	例開催のほか、必要	そに応じて臨時で 関	昇催している。				

[DO]

実績

				第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4カ年計	画		第 7 期
			第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年合計	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年 合 計	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施 4 カ年 合 計	総合計画合計
- 1	= 200	-1 izi 45	(3年度)	(4年度)	(5年度)		(6年度)	(7年度)	(8年度)		(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)		п
l l'	国 費	計画額				0				0					0	0
		予算計上額 実 績 額				0				0					0	0
3	** #	手 額 額 計 画 額				0				0					0	0
1	道費	予算計上額				0				0					0	0
	-	実 績 額				0				0					0	0
-	地 方 債	計画額				0				0					0	0
	地 方 賃 	予算計上額				0				0					0	0
投		実 績 額				0				0					0	0
入 .	その他	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
さ		実績額				0				0					0	0
1 h	一般財源	計画額	125, 000	125, 000	125, 000	375, 000	125, 000	125, 000	125, 000	375, 000	125, 000	125, 000	125, 000	186, 000	561, 000	1, 311, 000
16	州文 州 川水	予算計上額	125, 000	125, 000	125, 000	375, 000	125, 000	125, 000	123, 000	250, 000	123, 000	123, 000	123, 000	180, 000	301, 000	625, 000
た		実績額	53, 500	40, 810	35, 500	129, 810	40, 270			40, 270					0	170, 080
3	事業費合計	計画額	125, 000	125, 000	125, 000	375, 000	125, 000	125, 000	125, 000	375, 000	125, 000	125, 000	125, 000	186, 000	561, 000	1, 311, 000
事	7 × X L II	予算計上額	125, 000	125, 000	125, 000	375, 000	125, 000	125, 000	123, 000	250, 000	123, 000	123, 000	123, 000	100,000	001,000	625, 000
業		実績額	53, 500	40, 810	35, 500	129, 810	40, 270	0	0	40, 270	0	0	0	0	0	170, 080
				委員報酬	委員報酬		,	委員報酬	V	40, 270		V	V	V		170,000
費			費用弁償	費用弁償	費用弁償		費用弁償	費用弁償								
の 「	事業費予算の 内容															
0,	内谷															
推																
移			一般廃棄物処理	年間2回の開催	前年同額		前年同額	前年同額								
19	前年度予算と		基本計画策定に 伴い年間3回と していた開催予	予定とし、削年 度と同額の予管												
	の比較 (増減理由)		していた開催予	措置												
	(垣/吹生田)		定を例年の2回													
-			とした減 年1回の開催に	年1回の開催に	年1回の開催に		年1回の開催に									
				より、未実施1	より、未実施1		より、未実施1									
1	実績との比較 (増減理由)		回分の減	回分の減	回分及び欠席委		回分及び欠席委									
	(相拟生田)				員分の減		員分の減									

		1 5-1-4			38/4/ 🗆 **-		#	7 166									
			をもとに設定)	指標名:審議会院			指標の求め方:回		m##	. > =0.04							
成果	指標 1	(「成果」	をもとに設定)	指標名:			指標の求め方:原	双果指標の設定が 	困難であることだ ———	いっ設定しない 							
					第1次実施	63カ年計画			第2次実績	も3カ年計画			9	3次実施4カ年	計画		第 7 期
				第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
			1	(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
		活動指標 (単位/[<u> </u>	1	1	1		1	1	<u> </u>	1		1	4	1	-	
	指標		八根區	1				I									
	125	成果指標 (単位/	· L											<u> </u>		-	
		事業の達	八根框														
			標をもとに評価)				達成されている										
		事業の成					変わらない										
		(成果指	標をもとに評価)				変わらない										
		事業の効					変わらない										
			に対する成果) 														
		総合評価	<u> </u>	57.VK	カコハゼ	カコハゼ	良好である	<u> </u>	쇼크 八七	A T A K	Not Not TER etc	カコハゼ	57.VE	カコハゼ	カコハギ	Not Not TELL	
				■自己分析: 年1回の定例会	自己分析: 年1回の定例会	自己分析: 年1回の定例会	判断理由: 市長の諮問に応	自己分析: 年1回の定例会	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
				議を開催し、一	議を開催し、一	議を開催し、ご	じ、ごみの減量 化や再資源化な との協議を行う 組織であり、有	議を開催し、ご									
				般廃棄物の状	般廃棄物の状	み処理場の計画	化や再資源化な	み処理場の計画									
				一次、貧源こみ回	別、貧源こみ回	期間延長に伴う	との協議を行う	期間延長に伴う									
				投棄対策の実施	投棄対策の実施	計画の変更につ	識者や廃棄物肌	計画の変更につ									
				状況等につい	状況等につい	いて審議を行っ	識者や廃棄物処 理業者、市民の	いて審議を行っ									
事				【て、実績を報告	て、実績を報告	た。また、一般	代表で構成され	た。また、一般									
	評			し協議を行うこ			る委員の協議に										
	価						より、ごみ処理 業務の適正化が										
務	内			一 ノロラ 献 沈井	+ h Z 1 4 + -	分体の中体生に	回これていて古	対体の中体出口									
	容		総合評価の判断	況拡大により書	りのごみの量は	等について、実	から良好と判断	等について、実									
事			理由または指標	面会議となっ	前年と比べやや	績を報告し協議	められている事から良好と判断した。	績を報告し協議									
7			の実績値に関す	┃た。各家庭及び ┃事業者から排出	増加した。	を行った。各家		を行った									
			る自己分析	事未有から排出 される一人当た		庭及び事業者か ら排出される一											
業				りのごみの量は		人当たりのごみ											
				前年と比べやや		の量は前年と比											
評				減少した。		べ増加した。											
市十																	
価																	
		A /// - :	- - Id				#8.15 a ± ± 600 *±										
		今後の方	问性	25			現状のまま継続					210					
				R5: ごみ処理行政の	の複雑化に伴い	今後とも廃棄物処	1.理における様々	R8 :				R10 :					
						ってこ も廃業物処 織体制の継続は必											
				これまでの当れ	審議会の議題は各	種の報告が主なも	のだったが、更					1					
				なるごみの減量化	化・再資源化が求	められている現状	から、今後もこ					1					
						ら積極的に意見が に関する各問題の											
		生の判断す			へとし、この処理	に対する竹川起い	からしていいい										
	以香、 (R5	改革のP R8、R10	7 谷	I													
	(NO.	NO. 110	,,									1					
												1					
												1					
												1					
				I				1				Ī					

[PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	資源ごみ団体	回収助成事業	ŧ		事業期間	平成	6年度 ~ -	- 年度						
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	2-1-1	他に関連する 基本事業	6-2-1					所管課係	市民生活課環境衛生係
目的 (何のために実施するのか)	ごみの減量化・資	₹源化・再利用を	図るため、地域ぐん	るみの資源ごみ「	- 団体回収活動を奨励	ける。				望する団体は市に 体回収に1kgあた		き者に1kgあたり1	円の奨励金を交付	ने する。
対象 (誰・何を対象として いるのか)	新聞紙、雑誌等0	O紙類、空き瓶、	空き缶類を回収する	る町内会や子ど	も会等の団体とその)協力業者		成果 (どのような効果が 得られるのか)	市民のリサイク	ル意識の向上と資	源ごみの減量化。			
事業開始時の状況 緯	・これまでの経	本事業の開始以前 また、行政改革(前は、資源物も含め こより平成20年4	のて一般廃棄物と 月1日から回収	こして市が回収して 双団体に対する奨励	、すべて埋立り 金の額を、これ	処分を行っていた。 れまでの1kg当り4	なお、平成14年 1円から3円に減額	: 10月から一般: iしている。	家庭ごみの有料化	が開始されている	0		

[DO]

実績

第7期総合計画

				第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3カ年計画			第	3次実施4カ年計	画		第 7 期
			第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
			(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
	国 費	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実 績 額				0				0					0	0
	道	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実 績 額				0				0					0	0
	地 方 億	計画額				0				0					0	0
投		予算計上額				0				0					0	0
		実 績 額				0				0					0	0
入	その他	計画額				0				0					0	0
± ≥		予算計上額				0				0					0	0
		実 績 額				0				0					0	0
れ	一般財源		2, 606, 000	2, 606, 000	2, 606, 000	7, 818, 000	1, 975, 000	1,010,000	1, 975, 000	5, 925, 000	1, 975, 000	1, 975, 000	1, 975, 000	1, 975, 000	7, 900, 000	21, 643, 000
+-		予算計上額	2, 605, 000	2, 412, 000		7, 224, 000	1, 975, 000			3, 866, 000					0	11, 090, 000
た		実 績 額	1, 866, 000	1, 671, 344	1, 558, 128	5, 095, 472	1, 384, 692			1, 384, 692					0	6, 480, 164
事	事業費合計		2, 606, 000	2, 606, 000	2, 606, 000	7, 818, 000	1, 975, 000	1, 111, 111	1, 975, 000	5, 925, 000	1, 975, 000	1, 975, 000	1, 975, 000	1, 975, 000	7, 900, 000	21, 643, 000
		予算計上額	2, 605, 000	2, 412, 000	2, 207, 000	7, 224, 000	1, 975, 000		0	3, 866, 000	0	0	0	0	0	11, 090, 000
業		実 績 額	1, 866, 000	1, 671, 344	.,	5, 095, 472	1, 384, 692	-	0	1, 384, 692	0	0	0	0	0	6, 480, 164
費				団体回収補助金 91団体	団体回収補助金 91団体		団体回収補助金 88団体	団体回収補助金 88団体								
	事業費予算の	,		3円×602, 963kg				3円×472, 738kg								
の	内容		4業者	4業者	4業者		4業者	4業者								
推			1円×651,087kg	1円×602,963kg	1円×551,567kg		1円×493, 540kg	1円×472,738kg								
1肚	_		同収量が前年度	回収量が前年度	同収量が前年度		回収量が前年度									
移	**ケロマダリ		を下回ると見込	を下回ると見込	を下回ると見込		を下回ると見込									
	前年度予算と の比較		まれたため減額	まれたため減額	まれたため減額		まれたため減額									
	(増減理由)															
			補助金申請の回	補助金申請の回	補助金申請の回		補助金申請の回									
	実績との比較	,	収量が予定数量	収量が予定数量 を下回った事に	収量が予定数量		収量が予定数量 を下回った事に									
	(増減理由)			よる減	よる減		よる減									

11178	の推得	・評価															
活動	指標 1	(「手段」を	をもとに設定)	指標名:交付申請	団体数		指標の求め方:団体回収補助金の申請をした団体数										
成果	指標 1	(「成果」を	をもとに設定)	指標名:資源ごみ	▶団体回収量		指標の求め方:因	団体回収により資	原回収された量								
					第1次実施	3 力年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4力年記	十画		第 7 期
				第 1 年次 (3年度)	第2年次(4年度)	第3年次(5年度)	実施3カ年合計	第4年次(6年度)	第5年次(7年度)	第6年次(8年度)	実施3カ年合計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
		古動指標		91	91	91		91	91	91		91	91	91	1 1 1 1		
	指	(単位/団 数)	実績値	79	75	74		72									
	標	成果指標:		649, 000	649, 000	649, 000		649, 000	649, 000	649, 000		649, 000	649, 000	649, 000	649, 000		
		(単位/kg	人根框	466, 518	417, 836	389, 534		346, 173									
			をもとに評価)				あまり達成されていない										
			をもとに評価)				あまり上がってい ない										
							上がっている										
		総合評価					良好である										
事務事業評価	評価内容	総合評価の判断理由または指標		計申収て同団減とれ年新ルり団れにの件画請量いじ体少もる度型ス活体、法削の値団とも。資構で図、引口影を多収率収回、収益のでの、明の影を多収率収回、関大のでのである。というでは、対しているが、のでは、対しているでは、対しているでは、対しているでは、対しているが、は、のしと収がこわ2きイよたら者目要響は、のしと収がこわ2きイよたら者目要響	申収年コの動も活団るに額減今生どる実量りの請請量度可影をみ動体。よ、つ後支で周施の、機ち以ウにえれ休増類回助い町長度を体加サに大響控らをも紙り補ても部制知団がすて減金共が会議更い回図了めいます。 いっぱい に、衛なな、収 ルたの はいか に、衛なな、収 ルたの はいか に、衛なな、収 ルたの はいか に、衛なな、収 ルたの はいか に 、	申収をるに額減今生どるリ進 請量下。紙り補ても部制知イ努 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	働のイとづむこ回向内のイとづむこ回向内のイとづむこと収にののイとが最もあ渡が、みサ本会組な 傾市の	申収をるに額減紙め雑にめる会請量下。よ、の類で誌とと、衛田と回紙り補でのい類り推今のい類り接っていていているのが減測後支が、対していい、のでは、対していて、のでは、対していて、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対し	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		今後の方向	向性				現状のまま継続										
	改善、	生の判断理 . 改革の内 . R8、R10)	容	削減を目指すうえ 現在、当事業は きな成果が得られ の減少、排出する なっている。	で非常に等のは、 でまなに、 でまない。 でまない。 でまるとは、 でいるの性、 でいるの性、 できる数の減量の減量の減量の減量のが、 るい。 できない。	が自主的な活動を るだより のこと に関類の最大の は の を の の の の の の の の の の と の に の に の に の に の	行っており、大 高齢化や傾向 と が顕著であるが、、 致し方な事ましたない業 直接回転しと きく うしないまれ	R8 :				R10 :					

[PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	ごみ分別収集	推進事業			事業期間	平成1	2年度 ~ —								
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外		第7期総合計画 の位置付け	2-1-1	他に関連する 基本事業	2-3-1	-				所管課係	市民生活課環境衛生係	
目的 (何のために実施するのか)	ごみの分別につい 循環型社会の推進		者に対して理解を行	得ながら分別を	・ 進めることにより、	ごみの減量化・	再資源化を推進し	手段 (どのような方法で 実現するのか))ような方法で I 投完である後等に上り手数判決を拗向して加速等用になて、予定しておいても関係を指すって、1 対象である						
対象 (誰・何を対象として いるのか)	市民。							成果 (どのような効果が 得られるのか)	適正なごみの分別	別収集を市民に浸	透し円滑に行うこ	とにより、ごみの	分別収集体制が研	生立される。	
事業開始時の状況 緯			日からの一般ごみ・ 比でき効率的な収集			゚みの4分類を、፯	平成14年10月 1 日か	ら可燃・不燃・資	源・生ごみ・粗大	・危険ごみの6分	分別の収集体制に	変更した。さらに	は、各ゴミステー	ションボックス等の集約が図ら	

[DO]

実績

				第1次実施	3カ年計画				第 7 期							
			第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
			(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
国	費計	画額				0				0					0	0
	予算	計上額				0				0					0	0
	実	績 額				0				0					0	0
道	費計	画額				0				0					0	0
	予算	計上額				0				0					0	0
	実	績 額				0				0					0	0
地 方	債 計	画額				0				0					0	0
投	予算	計上額				0				0					0	0
	実	績 額				0				0					0	0
入その	他計	画額				0				0					0	0
à l	予算	計上額	12, 536, 000	12, 530, 000	17, 071, 000	42, 137, 000	16, 651, 000	16, 961, 000		33, 612, 000					0	75, 749, 000
6	実	績 額	12, 597, 613	12, 668, 000	16, 861, 573	42, 127, 186	16, 734, 554			16, 734, 554					0	58, 861, 740
れ 一般 貝	財源 計	画額	12, 573, 000	12, 573, 000	12, 573, 000	37, 719, 000	16, 651, 000	16, 651, 000	16, 651, 000	49, 953, 000	17, 641, 000	16, 651, 000	16, 651, 000	16, 651, 000	67, 594, 000	155, 266, 000
	予算	計上額				0				0					0	0
<i>t</i> =	実	績 額				0				0					0	0
事業費	合計 計	画額	12, 573, 000	12, 573, 000	12, 573, 000	37, 719, 000	16, 651, 000	16, 651, 000	16, 651, 000	49, 953, 000	17, 641, 000	16, 651, 000	16, 651, 000	16, 651, 000	67, 594, 000	155, 266, 000
	予算	計上額	12, 536, 000	12, 530, 000	17, 071, 000	42, 137, 000	16, 651, 000	16, 961, 000	0	33, 612, 000	0	0	0	0	0	75, 749, 000
業	実	績 額	12, 597, 613	12, 668, 000	16, 861, 573	42, 127, 186	16, 734, 554	0	0	16, 734, 554	0	0	0	0	0	58, 861, 740
費				ごみ指定袋等作製	ごみ指定袋等作製		ごみ指定袋等作製委託	ごみ指定袋等作製委								
	· # 0		委託料 ごみ指定袋等取扱	委託料 ごみ指定袋等取扱	委託料 ごみ指定袋等取扱		科 ごみ指定袋等取扱委託	式料 ごみ指定袋等取扱委								
の事業費予	7昇の		委託料	委託料	委託料		料 (売上の5%を販売店に	託料 (高上の5%を販売								
			(売上の5%を販 売店に支払)	(売上の5%を販売店に支払)	(売上の5%を販 売店に支払)		支払)	店に支払)								
推			その他事務費	その他事務費	その他事務費		事務費 (印本費)	事務費 (印本費)								
移				ごみ指定袋の作				ごみ指定袋の作								
前年度予			製材剱か削年度 を上回ると見込	製枚数が前年度 を下回ると見込	作成原価の工弃 に伴う増		枚数が前年度を下 回ると見込まれた	製枚数が前年度を上回ると見込								
の比較 (増減理			まれたため増額	まれたため減額	1-11 7-8		ため減額	まれたため増額								
(2011)(2)	ЕШ/															
			ごみ指定袋の作製	ごみ指定袋の作製	ごみ指定袋の作		ごみ指定袋取扱が予									
rt=/= 1 @			均粉が予定物景を	均粉が予定数量を	制サポバスウ粉		定数量を上回った事									
実績との(増減理			上回った事による 増	上回った事による増			による増 3月補正									
(76/1/5/2	/		3月補正	3月補正	による減		219千円									
			160千円	138千円												

活動指標 1 (「手段」をもとに設定)	指標名:ごみ処理手数料	指標の求め方:指定ごみ袋等処理手数料の収納額
成果指標 1 (「成果」をもとに設定)	指標名:間違って出されたごみ件数	指標の求め方:指定したごみに警告シールを貼り付けた件数

			第1次実施3カ年計画						第 7 期							
			第 1 年次 (3年度)	第2年次(4年度)	第3年次(5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次(8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4力年合計	総合計画合計
	1	活動指標 1 計画値		(4年度)	(5年度)	1 11	46, 150	(7年度)		1	(9年度)	46, 150	46, 150		п п	
	指	(単位/千円) 実績値		46, 598	44, 679		44, 896	10, 100	10, 100		10, 100	10, 100	10, 100	10, 100		
	標	成果指標 1 計画値	2, 150	2, 085	2, 022		1, 961	1, 902	1, 844		1, 788	1, 734	1, 681	1, 630		
		(単位/件) 実績値	1, 504	1, 280	1, 270		1, 120									
		事業の達成度 (活動指標をもとに評価)				ほぼ達成されている										
		事業の成果 (成果指標をもとに評価)				上がっている										
		事業の効率性 (事業費に対する成果)				変わらない										
		総合評価				普通である										
事務事業評価	評価内容	理市士4.1+长楼	る年こ数増ま排シ収前しも出たに収した出いた出しにに収た不はをい比り続いである。適警貼件べ、ごをるりしににないとり続いの制が追い額が増入、額が増入、額が増入、額が増入、額が増入、額が増入、額が増入、額が増入、	る年こ数減ま排シ収前しも出民販にと料少た出一し年で引しに一たない比り続一知をいたいはのし、にいなとおきいは・一知教減っ、額等的対域・額等的対域・一知が減少が、一般が減少が、一般が減少が、一般が減少が、一般が減少が、一般が多いで、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般で	る年こ数滅ま排シ収前しも出版に比には、以下にと料少たにしませいといいり、にいけりにいたりは、できまりにといいりには、のもいいはのは、できまりには、のは、のは、のは、のは、のは、のは、のは、のは、のは、のは、のは、のは、のは	理券を使用した 分別収集は市民 に浸透している 状況であること から普通と判断	自各販比ごい店とのたま出を件減後出にある販売べみ取舗に収ったに貼数少もし周る行法減较っがよ斜 にいいがし引ル知。が売核減较っで増り額 不警回前できーすがらすた数加 なーな比、ご市要ははいからであります。 いっぱい いっぱい いっぱい はいい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		今後の方向性	DE.			現状のまま継続	000				D10					
	改善、						R8 :				R10 :					

[PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	し尿収集処理	事業			事業期間	_	年度 ~ —	年度								
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	2-1-1	他に関連する 基本事業						所管課係	市民生活課環境衛生係		
目的 (何のために実施するのか)	未水洗家庭及び	事業所のし尿を申	込制により収集処:	理し、衛生的な	環境の維持を図る。			手段 (どのような方法で 実現するのか)	申込みに基づきし尿を収集し、奈井江町の処理施設に投入する。収集運搬は委託契約により業者が行う。手数料は現 で収納したものについては委託業者が金融機関へ納入する。							
対象 (誰・何を対象として いるのか)	未水洗家庭及び	事業所。						成果 (どのような効果が 得られるのか)	し尿を適正に収集	集、運搬、処理し	衛生的な生活環境	きを維持する。				
事業開始時の状況 緯	・これまでの経	各家庭のし尿をり施設である奈井に	収集し、処理施設へ 工浄化センターでし	へ運搬する。平成の ではいまである。平成のである。 では、これである。	成20年度末に砂奈 処理できるよう平成	浦衛生センタ- 27年度から(ーを休止としたこと 供用を開始した。	 :から、平成21年	度まで歌志内市復	新生センタにて処3	 理を行っていたが	、現在、石狩川流	[域下水道組合加 <i>]</i>	人の12市町において、下水道処理		

[DO]

実績

					第1次実施	3 力年計画			第2次実施	3 力年計画		第3次実施4カ年計画					
				第 1 年次 (3年度)	第 2 年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	第 7 期 総合計画 合 計
	国	費	計画額				0				0					0	0
			予算計上額				0				0					0	0
			実績額				0				0					0	0
	道	費	計画額				0				0					0	0
			予算計上額				0				0					0	0
			実績額				0				0					0	0
	地	方 債					0				0					0	0
投			予算計上額				0				0					0	0
			実績額				0				0					0	0
入	そ	の他	計画額	6, 485, 000	6, 485, 000		19, 455, 000	4, 177, 000	1, 177, 000	4, 177, 000	12, 531, 000	4, 177, 000	4, 177, 000	4, 177, 000	4, 177, 000	16, 708, 000	48, 694, 000
₹			予算計上額	5, 336, 000	4, 556, 000		14, 569, 000	4, 177, 000	, ,		8, 594, 000					0	23, 163, 000
			実績額	4, 540, 500	4, 706, 100	4, 538, 000	13, 784, 600	4, 782, 000			4, 782, 000					0	18, 566, 600
れ	- #	般 財源	計画額	17, 501, 000	17, 501, 000	17, 501, 000	52, 503, 000	22, 053, 000	22, 147, 000	22, 094, 000	66, 294, 000	22, 094, 000	22, 147, 000	22, 094, 000	22, 094, 000	88, 429, 000	207, 226, 000
			予算計上額	18, 650, 000	19, 423, 000	20, 908, 000	58, 981, 000	22, 053, 000	21, 858, 000		43, 911, 000					0	102, 892, 000
た			実績額	19, 378, 514	19, 153, 208	20, 569, 608	59, 101, 330	21, 433, 571			21, 433, 571					0	80, 534, 901
事	事 業	養合計	計画額	23, 986, 000	23, 986, 000	23, 986, 000	71, 958, 000	26, 230, 000	26, 324, 000	26, 271, 000	78, 825, 000	26, 271, 000	26, 324, 000	26, 271, 000	26, 271, 000	105, 137, 000	255, 920, 000
			予算計上額	23, 986, 000	23, 979, 000	25, 585, 000	73, 550, 000	26, 230, 000	26, 275, 000	0	52, 505, 000	0	0	0	0	0	126, 055, 000
業			実績額	23, 919, 014		25, 107, 608	72, 885, 930	26, 215, 571		0	26, 215, 571	0	0	0	0	0	99, 101, 501
費の		費予算の 内容		搬委託料 手数料収納委託 料	料	搬委託料 手数料収納委託 料		搬委託料 手数料収納委託 料	料								
推	-					その他事務費		その他事務費									
移	0	度予算と D比較 減理由)			手数料収納委託 料の減	人札に伴う冉積 算による委託料 の増		人札に伴う冉積 算による委託料 の増	入札に伴う再積 算による委託料 の増								
	実績(増	との比較 減理由)		手数料収納委託 料の減		手数料収納委託 料の減		手数料収納委託 料の減									

Ħ	指標の推移・評価																	
汗	動指	票1 (「	「手段」をもとに	こ設定)	指標名:し尿処理	里件数		指標の求め方:し	レ尿を収集し、処	理施設へ搬入した	:件数							
月	课指	票1(「	「成果」をもとに	こ設定)	指標名:し尿収算	集量		指標の求め方:し	レ尿を収集し、処	理施設へ搬入した	量							
						第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4カ年計	-画		第 7 期
					第 1 年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第4年次(6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
	T	活重	助指標 1	計画値	1, 250	1, 237	1, 225		1, 212				1, 175	1, 162	1, 150	1, 137	- "	
	ŧ	自(自	単位/件)	実績値	1, 065	1, 035	982		997									
	ŧ	ルスコ	果指標 1	計画値	912, 000	902, 880	893, 760		884, 640	875, 520	866, 400		857, 280	848, 160	839, 040	829, 920		
	H	_	単位/Q) 業の達成度	実績値	726, 000	726, 520	712, 100		762, 300									
		(活	動指標をも	とに評価)				達成されている										
			業の成果 実指標をもる	とに評価)				少し上がっている										
			業の効率性															
			業費に対する	る成果)				変わらない										
		総台	今評価		百二八七	自己分析:	自己分析:	良好である 判断理由:	百二八七	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
					自己分析: 下水道や浄化槽	前年に比べし尿	前年に比べし尿	し尿の収集・運	自己分析: 前年に比べし尿	自己分析:	自己分析:	刊断理田:	自己分析:	自己分析:	日 乙 万 初 :	自己分析:	刊断理出:	
					の普及、人口減 少により、前年	処理件数は減 少、し尿処理量	処理件数及びし 尿処理量が減少	搬・投入につい ては現在の委託	処理件数及びし 尿処理量が増加									
					に比べし尿処理	が若干増加して	している。	ては現在の委託業者により問題	している。									
					件数及びし尿処 理量が減少して	いる。		なく業務が行わ れていることか										
	_				いる。			ら良好と判断し た。										
	事							120										
	í	6																
	答 F	与 字																
		at	総合評理由主	価の判断たは指標														
	事		の実績	値に関す														
	NH4-		る自己	23.4 1Ω														
	業																	
	評																	
	"																	
	画																	
		今後	 发の方向性					現状のまま継続										
					R5 :				R8 :				R10 :					
)収集運搬契約を 業務を基本的に継											
							ながら事業を行っ											
	方向性の判断理由																	
	改(善、改 R5、R8	革の内容 、R10)															
		-,	,															
													1					